

第7章 感染症対策・予防接種

1 結核予防事業

結核は、発見の遅れは治療の長期化や集団発生につながる恐れがあるため、予防対策が必要な疾患です。予防対策の一環として各種健康診査時に結核検診を実施しています。平成17年度から法改正によりツベルクリン反応検査が中止となりました。また、平成19年4月1日より、結核予防法は廃止されたことにより、結核検診は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定されました。

(1) 結核検診

対象者	満65歳以上
会場	保健センター等
方法	健康チェック，特定健康診査時に実施
周知方法	広報あしや
健診内容	問診，胸部レントゲン
結果通知	1か月後文書連絡
根拠	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

<単位：人>

年度	受診者数
21年度	6,425
20年度	6,682
19年度	7,359

21年度 実施結果 <単位：人>

対象人員		21,353
受診人員		6,425
一次検査	間接撮影者数	108
	直接撮影者数	6,317
	喀痰検査者数	0
要精密者数		239
	精密撮影者数	172
	喀痰検査者数	0
	未把握	0
被発見者数	結核患者数	0
	発病のおそれがあると診断されたもの	0

2 予防接種

予防接種は、これまで天然痘の根絶をはじめ、ポリオの流行の防止等多くの疾病の流行の防止に成果をあげ、感染症による患者の発生や死亡者の大幅な減少をもたらすなど、公衆衛生の向上に大きな役割を果たしてきました。感染症が著しく蔓延し、大きな被害を与えていた時代が過ぎ去り、予防接種によって獲得した免疫が感染症の流行を抑制していることが忘れられてしまいがちですが、国民全体の免疫水準を維持するためには、予防接種の接種機会を安定的に確保するとともに、社会全体として一定の接種率を確保することが重要です。

(1) ポリオ（急性灰白髄炎）

対 象	生後3か月から90か月未満 (標準的接種年齢：生後3か月から1歳6か月)
実施時期	5月、11月
会 場	保健センター
委託協力	芦屋市医師会
接種方法	41日以上の間隔をあけて0.05mlずつを2回経口投与(集団接種)
周知方法	告示、広報あしや、4か月児健康診査案内送付時に案内を送付
根 拠	予防接種法

<単位：人>

実 施 月	対象人員	接種人員	接 種 率
21年6月	835	938	112.3%
11月	846	617	72.9%
計	1,681	1,555	92.5%
20年5月	857	958	111.8%
11月	835	717	85.9%
19年5月	840	835	99.4%
11月	856	781	91.2%

(2) BCG

平成19年4月1日より、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正に伴い結核予防法が廃止され、BCG接種が予防接種法に基づき実施されることになりました。

対 象	生後3か月～6か月未満 *母子のどちらかに医学的理由があった場合、医師証明書と申請書兼同意書の提出にて集団接種可能(6か月以上1歳未満)
会 場	保健センター
接種方法	管針による経皮接種法(集団接種)
周知方法	広報あしや、4か月児健康診査案内送付時に案内を送付
根 拠	予防接種法

< 単位：人 >

年 度	対象人員	接種人員	接 種 率
21年度	890	825	92.7%
20年度	861	844	98.0%
19年度	915	855	93.4%

(3) ジフテリア・百日咳・破傷風混合 (D P T)

- 対 象 生後 3 か月から 7 歳 6 か月未満
(標準的接種年齢：生後 6 か月から 2 歳 6 か月)
- 実施時期 通年
- 委託協力 芦屋市医師会
- 接種方法 (1 期初回) 2 0 日から 5 6 日の間隔をあけて 0 . 5 ml ずつを 3 回皮下接種
(1 期追加) 1 期初回接種終了後，6 月以上間隔をあけて 0 . 5 ml を 1 回皮下接種
規定の接種間隔をはずれた場合は任意接種を実施。申請書を医療機関で提出。
- 周知方法 広報あしや，4 か月児健康診査案内送付時に案内を送付
- 根 拠 予防接種法

< 単位：人 >

年 度	対象人員	1 期初回				1 期追加	合 計
		1 回目	2 回目	3 回目	接種率		
21年度	844	865	852	858	102.4%	925	3,500
20年度	832	843	863	900	108.2%	822	3,428
19年度	844	905	898	902	106.9%	835	3,540

(4) 麻しん・風しん混合 (M R)

平成 1 8 年 4 月から麻しん・風しん (M R) 混合ワクチンによる 2 回接種制度が導入されました。平成 2 0 年 4 月からは，麻疹排除計画 (5 年間計画) として，麻しん・風しん (M R) 混合ワクチンの接種対象者に中学 1 年生と高校 3 年生が追加となり，M R 第 3 期・第 4 期を実施しています。

- 対 象 (1 期) 生後 1 2 か月から 2 4 か月未満
(2 期) 5 歳以上 7 歳未満で小学校就学前 1 年間
(3 期) 中学 1 年生に相当する年齢
(4 期) 高校 3 年生に相当する年齢
- 実施時期 通年
- 委託協力 芦屋市医師会
- 接種方法 0 . 5 ml を皮下接種 (個別接種)
- 周知方法 広報あしや，4 か月児健康診査案内送付時に案内を送付
2 期対象者には各学校を通じて保護者に通知，3 ・ 4 期対象者には個別通知
- 根 拠 予防接種法

<単位：人>

年 度	時期	対象人員	接種人員	接種率
21年度	1期	853	805	94.4%
	2期	850	771	90.7%
	3期	773	651	84.2%
	4期	738	594	80.1%
20年度	1期	845	817	96.7%
	2期	860	764	88.8%
	3期	727	590	81.2%
	4期	782	570	72.9%
19年度	1期	905	895	98.9%
	2期	845	734	86.9%

(5) 日本脳炎

平成17年7月より日本脳炎については国の指示により、接種の積極的勧奨は差し控えております。

対 象	(期) 生後6か月から90か月未満 (期) 9歳以上～13歳未満 (標準的接種年齢：小学4年生)
実施時期	通年 (現在、接種の積極的勧奨は差し控えている。接種希望者は副反応についての説明を受け、同意書記入の上で接種)
委託協力	芦屋市医師会
接種方法	(1期初回) 6日から28日の間隔をあけて0.25ml (3歳未満)・ 0.5ml (3歳以上)ずつを2回皮下接種 (個別接種) (1期追加) 1期初回接種終了後、概ね1年おいて0.25ml (3歳未満)・ 0.5ml (3歳以上)を1回皮下接種 (個別接種)
周知方法	広報あしや、各学校園等を通じて保護者に通知
根 拠	予防接種法

<単位：人>

年 度	期初回 1 回目	期初回 2 回目	期追加	期	合 計
21年度	896	771	52	57	1,776
20年度	70	67	61	35	233
19年度	76	79	76	17	248

(6) ジフテリア・破傷風混合 (DT)

対 象	満11歳以上13歳未満 (標準的接種年齢：小学6年生)
実施時期	通年
委託協力	芦屋市医師会
接種方法	0.1mlを皮下接種 (個別接種)

周知方法 広報あしや，各学校を通じて保護者に通知
 根 拠 予防接種法

<単位：人>

年 度	対象人員	接種人員	接 種 率
21年度	829	490	59.1%
20年度	764	528	69.1%
19年度	753	363	48.2%

(7) 就学前の予防接種確認

就学時健診日に教育委員会と連携して，就学前に実施すべき予防接種が実施されているかを確認し，未接種の予防接種について接種を勧奨しています。

実施場所 市内8小学校
 事業開始 平成16年度

<単位：人>

実施日	小学校名	対象 人数	受診 者数	予防接種 完了者	MR2期 未接種者	DPT 未完了者	ポリオ 未完了者	未接種
10月27日	山手	140	90	42	43	10	4	1(0)
11月5日	精道	136	135	89	44	7	2	2(0)
10月28日	潮見	89	84	40	30	10	5	3(1)
10月27日	打出浜	97						
10月26日	浜風	55	55	27	26	7	1	1(1)
11月12日	宮川	123	103	58	45	6	0	0(0)
10月27日	岩園	122	109	67	38	13	1	1(0)
10月27日	朝日ヶ丘	88						
合計		665	576	323	226	53	13	8(2)
受診率			86.6%	56.1%	39.2%	9.2%	2.3%	1.4%
*朝日ヶ丘，打出浜除く								(0.3%)

*朝日ヶ丘，打出浜は就学時健康診査日が重複したため，ちらしのみ配布としました。

(8) 高齢者インフルエンザ

対 象 65歳以上(60歳以上～65歳未満で身体障害者手帳内部障害1級所持者)
 期 間 平成21年10月15日～平成22年1月31日
 委託協力 芦屋市医師会
 接種方法 0.5mlを皮下接種(個別接種)
 費 用 1回 1,000円
 事業開始 平成13年度

< 単位：人 >

年度	10月	11月	12月	1月	接種者合計	対象者	接種率
21年度	3,969	3,173	985	1,077	9,204	21,353	43.1%
20年度	1,194	5,686	2,411	1,186	10,477	20,734	50.5%
19年度	787	5,633	2,025	1,165	9,610	20,062	47.9%

(9) 新型インフルエンザ(集団接種)

対 象 小学1年生から3年生に相当する年齢までの児童
 期 間 平成21年12月13日～平成22年1月17日(3小学校で6回実施)
 協力依頼 芦屋市医師会・在宅保健師・看護師
 接種方法 0.3mlを皮下接種
 費 用 1回目接種料 3,600円 2回目接種料 2,550円

新型インフルエンザ集団接種実施結果

月 日	場 所	接種人数
H21/12/13, H22/1/10	岩園小学校体育館	248人
H21/12/20, H22/1/11	精道小学校体育館	232人
H21/12/23, H22/1/17	宮川小学校体育館	245人
合 計		725人

新型インフルエンザ接種者数

接 種 区 分		1回目	2回目	合 計
医療従事者	65歳未満の者	1,090	0	1,090
	65歳以上の者	89	0	89
	小 計	1,179	0	1,179
妊婦		453	2	455
基礎疾患を有する者	1歳～小学校3年生	222	161	383
	小学校4年生～6年生	73	16	89
	中学生及び高校生の年齢該当者	40	3	43
	高校卒業以上相当～65歳未満の者	795	23	818
	65歳以上の者	2,786	20	2,806
	小 計	3,916	223	4,139
1歳～小学校3年生		2,610	1,937	4,547
1歳未満の小児の保護者及び優先接種対象者のうち身体上の理由により予防接種が受けられない者の保護者等		443	1	444
小学校4年生～6年生		188	74	262
中学生		130	0	130
高校生の年齢該当者		112	4	116
65歳以上の者		1,768	0	1,768
1歳未満の者		7	2	9
上記以外の者		1,343	0	1,343
合 計		12,149	2,243	14,392